

男女共同参画の視点から見る**防災**

避難所運営で起きやすいこと ～性別による無意識の思い込み～

■特定の活動が片方の性別に偏る

よく見られる事例として、一部の男性に過度な責任が集中することや、調理や片付けなどの作業が女性に偏ることが挙げられます。

■実際のニーズとのずれ

「異性の係員から肌着や衛生用品などを受け取りにくい」「女性には更衣室があるのに、男性はトイレで着替えている」「携帯電話を充電したい」など、短期間なら我慢できる小さな不満も、終わりの見えない避難生活では大きなストレスにつながります。

■一人一人の意見を出し合って

性別で人の得手不得手や必要なサポートなどを決めてしまうことは、緊急時では特に起こりやすいですが、そうしたことを「落ち着いたら見直そう」と思っていると、いつまでたってもそのままになってしまいがちです。日頃から運営に係る人を男女それぞれ取り決めておくことや、避難所では意見箱を設置して避難者のニーズを広く集める工夫をすることなどが必要になります。



最新のマンモグラフィ検査で乳がんの 検査精度が大幅に向上します

問中央病院（地域医療連携部） ☎0176-23-5121

乳がんは早期発見で治癒できる確率の高い疾患です。マンモグラフィ検査は、乳がんや乳腺症など、乳腺に起こるさまざまな病変の発見や診断に役立つ検査で、中央病院では、令和7年度から**新型マンモグラフィ装置「アミュレットソフィニティ」**を導入します。

特長

より精度の高い検査ができる

- ▶低線量でも高精細な画像
- ▶トモシンセシス（3D撮影）機能



乳房圧迫時の痛みを軽減



圧迫自動減圧制御機能
「なごむね」



▲アミュレットソフィニティ

利用方法

①中央病院で実施する乳がん検診・ 人間ドックのオプションを申し込む

または

②かかりつけ医へ相談の上、紹介状を 依頼する

※症状、紹介先の診療科はお問い合わせください。



女性の受診者には、女性の診療放射線技師が検査にあたります。

○ご予約・お問い合わせは
中央病院地域医療連携部まで
中央病院ホームページはこちらから▶

